
第6回 室蘭市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

開催日時	令和元年11月19日(火) 13:30~14:30
開催場所	室蘭市生涯学習センターきらん 2階 研修室
出席者	別紙のとおり
議 事	1. 公共交通の取り組み概要と令和元年度事業について 2. 持続可能なバス路線網の構築について 3. 令和2年度事業の検討状況について

【議事1】

- ・ 事務局より、議事1について資料説明。

有村会長：資料1において、今年度の事業ということで短期の施策がいくつか報告されたが、中長期の施策については、この段階ではまだ報告できないという理解でよいか。

事務局：お見込みのとおり。

有村会長：バスデータの標準化について、市内のバスについても標準化に合わせつつある状況でよいか。例えば次年度には公開できるような速度感か。

事務局：バス事業者がデータ提供し、北海道観光振興機構がデータ化を行うもので、今年度内にデータ化する予定と伺っている。

有村会長：バスマップは今年度中の完成と聞いているが、具体的にはどのように配付する予定か。

事務局：次年度以降の配付予定であるが、交通結節点や人が多く集まる施設などで配架する考えでいる。

A委員：高齢者向けマイバス時刻表について、高齢者の意見聴取というのは、どのような方を考えているか。

事務局：老人クラブさんなどのほか、困っている高齢者に声かけなどをされておられる民生委員さんが集まる場などでも意見交換させていただきたいと考えている。

A委員：そのときに、市内でも馬蹄形で地域が異なるため、地域性を十分考えて意見を聞いていただきたいと思う。

B委員：意見ではないが、要望として、資料をしっかりと読み込みたいので、事前に資料を送ってもらいたいので、お願いしたい。

【議事2】

- ・ C委員より、議事2について資料説明。
-

C委員：昨今のバス業界は乗務員不足や燃料費の高騰など多くの問題を抱えているが、とりわけ乗務員不足は大きな課題となっている。弊社においても、大型2種免許取得の助成制度や支度金制度の導入、各地での企業説明会の開催など様々取り組んでいるが、乗務員不足解消の目途は立っていない。このような中で、今回の改正については、各路線の利用実態を精査し、乗車人員の僅少な便の減便や各路線の発車時間間隔の調整により減便する結果となった。その結果、室蘭市に係る市内31路線と郊外3路線の計34路線で70便程度、1路線1往復程度の減便となる。また、現行で平日往路1便のみ運行している舟見町線については、1便あたりの利用者が非常に少ない現状にあり、路線を廃止する予定。今回の減便は、利用が低下する日中や夜間の時間帯及び乗車人員が僅少となる便を対象としているが、多少なりとも利用者への影響が懸念される。しかしながら、乗務員不足が進む中、利用者の交通手段を総合的に確保するための苦しい判断であることにご理解をいただきたい。

D委員：詳細な中身についてはどのようなになっているか。

C委員：詳細についてはまだお示しできないが、今回の改正は便数の変更であり、路線や系統運行を変えることはない。

有村会長：今回の見直しで、実際の乗降客に与える影響が出てくるものと思うが、最小限に収まっているのかどうか、特に目的が乗務員不足の解消だということなので、見直した中で路線は維持できていて、かつ、できるだけお客さんを乗せるという変更になっている、このような理解でよいか。

C委員：通勤・通学のラッシュ時間は避けた便数変更としている。日中や夜間の利用の少ない便を中心に減便としている。また、減便する便に近接するように時間を変更したり、重複する便で代替が可能かなど精査した上での変更としている。

E委員：町内会連合会から現況をお話ししたい。このたび、各地区からの市への要望をとりまとめた。そのなかで、バス路線の増便要望があったので、参考までにお話ししておきたい。げんき館～地球岬団地線のバス時刻の見直しという要望だが、白鳥台連合町会からきている。これは、白鳥台から市立病院や日鋼記念病院に通院する行きの便であるが、これが朝7:05、9:55、11:55の3便で通院するには利用しやすいが、帰りの便で、市立病院前発が朝8:57、10:57、17:50の3便となっており、病院の帰りとなる13時から15時くらいの時間帯の便がなく、利用しづらく不便を感じているとのこと。また、白鳥台ショッピングセンターの新規開店に伴い蘭西地区住民の利用促進を考えるため時刻の見直しと増便をお願いしたいとの内容。

F委員：現在、北海道警察全体で高齢者の免許返納に関して色々と働きかけを行っている。一方で、免許返納したく運転にも不安があるが、公共交通機関にも不安があり、通院・買い物に不便を感じているということで、車を手放せないということになっている。やはり、きめ細かく路線が充実していれば免許返納にもつながるのかなと思うが、一企業であるバス会社さんにその負担を負わせて増便してもらうというのも、なかなか酷な話だと思う。難しい問題ではあるが、公共交通を活性化していければ、高齢者にとってもありがたい話になってくるのではと考える。

有村会長：大樹町のほうで自動運転の実証に携わっており色々と情報収集も行っているが、例えば函館未来大学では、一つのタクシーに複数乗り合いできるような仕組みを作って地域でやっという取り組みを全国で実証している。それで、今回は減便という話だが、将来的に乗務員不足が起こる中で、例えば、幹線に関してはしっかりとバス事業者さんに頑張ってもらって、需要が薄いところは乗り合いタクシーで最適ルー

トを回す仕組みを導入するなどして、役割分担を明確にし、道の駅で接続し乗り換えてもらう、いまのバス停では吹きさらしの場所などが多いので、ちゃんと待てる場所に需要を集約するといったことも考えられる。先ほど病院の話もあったが、都市施設が再編されていくとなったときに、そこはしっかりとバスと接続するなど、将来的なことを中長期のなかでしっかりと意識しておく必要がある。また、バスロケやバスデータの標準化など、日本でMaaS(Mobility as a Service)という言葉が至るところで聞かれ、スマートフォンで交通に関する予約・決済など技術開発が進んでいる。例えば、これを室蘭市で導入していくとなると、やはり活性化協議会でも議論しておかなければ、浸透していかないと思う。合わせてハードウェアの整備も出来るだけ速やかに予算化し、まちづくりと連動させていかなければ、使い勝手の良くないまちになっていく。今回の減便は需要側ではなく、供給側の乗務員不足が主であり、利用者を集約していくなど、色々と考えながら対応していかなければならない。

【議事3】

・ 事務局より、議事3について資料説明。

B委員：制度が固まっていないとのことだが、乗るときにワンコインをプラスするということか。

事務局：ほかのまちの事例でいくと、例えば、高齢者がパスを運転手さんに見せることで、250円の運賃が100円になるといったような制度を現在検討しているところ。

B委員：ワンコインバスという100円で乗れるバスという話も聞いたことがあるが、それとは異なるイメージか。

事務局：あくまでも利用者にパスを持っていただいた形をイメージしている。

E委員：町内会連合会では、近年増加する高齢者の交通事故について、運転支援装置の設置に対する助成制度の創設について要望がある。これは東京都が令和元年度から実施していて、70歳以上を対象に10万円を限度に9割助成すると聞いている。また、70歳以上の高齢者の免許更新は講習が必要になるのではということも聞いている。さらに、検討中ということではあるが、高齢者が乗る自動車は安全装置が設置されているものに限るといった検討もされているとのこと。このようなことを国が検討しているということで、高齢者ドライバーの環境が厳しくなり免許返納者も増加することが予想され、公共交通利用者も増加するものと考えられ、今回説明のあった事業がより充実したものになっていくよう町内会連合会としてもお願いしたい。

F委員：警察庁のほうから、なにかあれば都度通知があるが、いまのところはなく、次回の更新でなんらかの設備が必要だとか限定免許ということは、むしろ報道のほうが進んでおり、有識者などによる検討を重ねている段階かと思われる。最新の道路交通法の改正で関係があるとすれば、自動運転に関して今後法整備を進めていくといったことがある。

A委員：この事業を検討していくとのことだが、次年度のいつまでに実施するのか。また、ワンコインとあるが、どの程度の負担なのか。

事務局：開始時期については、事業者さんと協議中ではあるが、一定程度の周知期間を経て、新年度の早い時期には開始したいと考えている。また、パス発行については、無料というのは難しく一定程度の負担をしていただくことを想定しているが、バス利用に係る負担額等も考慮しながら検討しているところ。

有村会長：最後に全体を通じてご意見などはないか。なければ、以上をもって本日の議事を終了とする。

以 上

室蘭市地域公共交通活性化協議会 委員名簿

令和元年11月1日現在

法定要件	区分	団体・所属	職名	氏名	役職	出欠	備考
交通事業者	バス	室蘭地区バス協会	事務局代表	きむら てつや 木村 徹也		○	
		室蘭地区バス協会	事務局代表	たかもと かつひこ 高本 克彦		○	
	ハイヤー	室蘭ハイヤー協同組合	理事	ひらだて じょうじ 平館 常治		○	
	鉄道	北海道旅客鉄道(株) 東室蘭駅	駅長	なかむら ひろゆき 中村 博之		○	
道路管理者	国道	国土交通省北海道開発局 室蘭開発建設部道路計画課	課長	さとう しげかず 佐藤 茂一		○	
	道道	北海道胆振総合振興局 室蘭建設管理部地域調整課	課長	とおらいわ ひろし 通岩 公		欠席	
	市道	室蘭市都市建設部土木課	課長	なかつか はるゆき 中塚 治幸		○	
港湾管理者	室蘭港	室蘭市港湾部港湾政策課	主幹	にしだて たけし 西館 武志		欠席	
地域公共交通の利用者	商工関係団体	室蘭商工会議所	商業副部会長	こばやし ひでき 小林 秀樹		欠席	
		室蘭商工会議所	港湾運輸交通部会長	つちくら たかし 土倉 崇		○	
		室蘭市商店街振興組合連合会	理事長	さいとう ひろこ 斉藤 弘子		欠席	
	住民団体	室蘭市町内会連合会	副会長	こばやし ひでみつ 小林 秀光	監事	○	
		室蘭市町内会連合会	常任理事	はしもと まさとし 橋本 正敏		○	
		室蘭市民生委員児童委員協議会 本輪西地区	本輪西地区会長	とよかわ とほる 豊川 友治		○	
		室蘭市民生委員児童委員協議会 本室蘭校地区	本室蘭校地区会長	たなか うたこ 田中 謠子		○	
学識経験者	学識経験者	室蘭工業大学くらし環境系領域	准教授	ありむらみさる 有村 幹治	会長	○	
その他市長が必要と認める者	北海道運輸局	国土交通省北海道運輸局 室蘭運輸支局	首席運輸企画専門官	のざか しょういち 野坂 祥一		○	随行 運輸企画専門官 佐々木一人
	北海道	北海道胆振総合振興局 地域創生部地域政策課	課長	みずい けいすけ 水井 啓介	監事	欠席	
	北海道警察	北海道札幌方面 室蘭警察署交通第一課	課長	おみ とみお 尾見 富雄		○	
	労働組合	北海道地方交通運輸産業労働組合協議会 室蘭地区交通運輸産業労働組合協議会	議長代理	くどう みきひこ 工藤 幹彦		○	
地方公共団体	室蘭市	室蘭市生活環境部	部長	すぎもと ひさお 杉本 久佐男		欠席	
		室蘭市都市建設部	部長	さとう はじめ 佐藤 肇	副会長	○	

敬称略

※氏名欄の下線は、今年度変更の委員となっております。